

第76回国民体育大会 関東ブロック大会 組み合わせ 【成年男子の部】

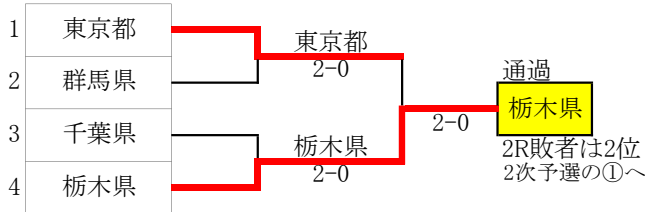
期日 2021年6月26日(土)～27日(日)
会場 栃木県総合運動公園テニスコート

シード	都県	監督	選手		シード	都県	監督	選手	
1	東京	中村 吉人	1	白石 光	3・4	神奈川	石崎 勇太	1	喜多 元明
			2	田形 諒平				2	小林 雅哉
	群馬	福井 保次郎	1	窪田 緑		山梨	権太 正弘	1	古谷 和真
			2	青木 源				2	保坂 駿太
	千葉	齋田 淳	1	矢島 淳揮		茨城	萩谷 弘通	1	小林 良徳
			2	石井 涼太				2	加藤木 塁
3・4	栃木	阿久津 定之	1	川橋 勇太	2	埼玉	岡田 茂夫	1	江原 弘泰
			2	柚木 武				2	木元 風哉

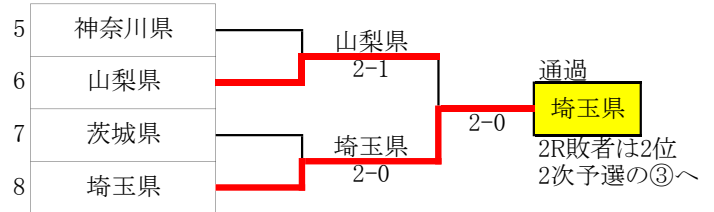
●6月26日(土) 《1日目》

1次予選

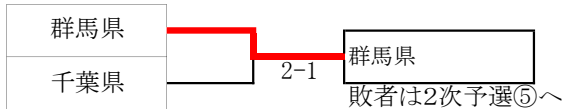
◆ Aブロック



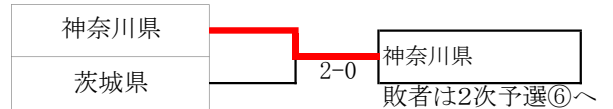
◆ Bブロック



◆ 1回戦敗者戦(4位決定戦)



◆ 1回戦敗者戦(4位決定戦)



・ 1回戦敗者戦の勝者と対戦した1回戦の勝者は、ブロック2位決定

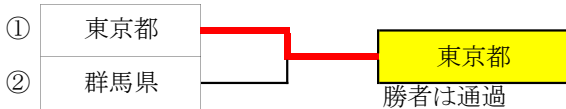
* 1回戦敗者戦の勝者と対戦した1回戦の勝者が2回戦でも勝者(ブロック1位)となった場合は、そのブロックの反対サイドの1回戦勝者とブロック2～3位決定戦を行う(2日目)。

通過 3、4

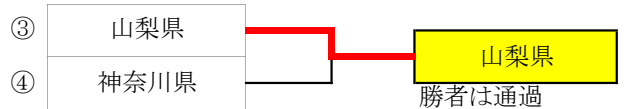
●6月27日(日) 《2日目》

2次予選

◆ Aブロック2～3位決定戦(*の場合)

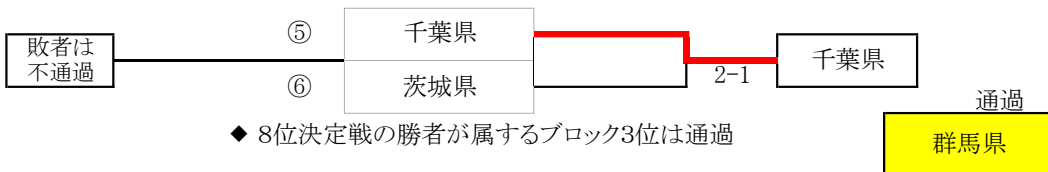


◆ Bブロック2～3位決定戦(*の場合)



(1回戦の予選で対戦済みの時は、その結果に従い対戦は行わない)

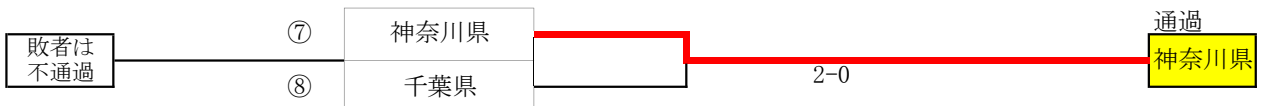
◆ 8位決定戦(A・Bブロック4位の対戦)



◆ 8位決定戦の勝者が属するブロック3位は通過

3次予選

◆ 6～7位決定戦(8位決定戦の勝者と異なるブロックの3位⑦)



テニス試合記録

成年男子1次予選:ブロック1R

Aブロック				Bブロック			
	東京	2 対 0	群馬		神奈川	1 対 2	山梨
S1	白石 光	8 - 1	窪田 緑	S1	喜多 元明	5 - 8	古谷 和真
S2	田形 諒平	8 - 3	青木 源	S2	小林 雅哉	8 - 6	保坂 駿太
D	白石 光	\ - /	窪田 緑	D	喜多 元明	2 - 8	古谷 和真
	田形 諒平		青木 源		小林 雅哉		保坂 駿太
	千葉	0 対 2	栃木		茨城	0 対 2	埼玉
S1	矢島 淳揮	4 - 8	川橋 勇太	S1	小林 良徳	2 - 8	江原 弘泰
S2	石井 涼太	1 - 8	柚木 武	S2	加藤木 壘	6 - 8	木元 風哉
D	矢島 淳揮	\ - /	川橋 勇太	D	小林 良徳	\ - /	江原 弘泰
	石井 涼太		柚木 武		加藤木 壘		木元 風哉

成年男子1次予選:ブロック2R(勝者は通過)

	東京	0 対 2	栃木		山梨	0 対 2	埼玉
S1	白石 光	7 - 9	川橋 勇太	S1	古谷 和真	2 - 8	江原 弘泰
S2	田形 諒平	3 - 8	柚木 武	S2	保坂 駿太	6 - 8	木元 風哉
D	白石 光	\ - /	川橋 勇太	D	古谷 和真	\ - /	江原 弘泰
	田形 諒平		柚木 武		保坂 駿太		木元 風哉

成年男子1次予選:ブロック1R敗者戦

	群馬	2 対 1	千葉		神奈川	2 対 0	茨城
S1	窪田 緑	8 - 6	矢島 淳揮	S1	喜多 元明	8 - 5	小林 良徳
S2	青木 源	3 - 8	石井 涼太	S2	小林 雅哉	8 - 1	加藤木 壘
D	窪田 緑	8 - 5	矢島 淳揮	D	喜多 元明	\ - /	小林 良徳
	青木 源		石井 涼太		小林 雅哉		加藤木 壘

成年男子2次予選:ブロック2位・3位の通過決定戦(1次予選で対戦済みの時は、その結果に従い対戦は行わない)

※1次予選で対戦済みの為、対戦無し

		対				対	
S1		-		S1		-	
S2		-		S2		-	
D		-		D		-	

成年男子2次予選:8位決定戦(A・Bブロック4位の対戦)(敗者は不通過)

	千葉	2 対 1	茨城
S1	矢島 淳揮	4 - 8	小林 良徳
S2	石井 涼太	9 - 7	加藤木 壘
D	矢島 淳揮	9 - 8 ⁽⁴⁾	小林 良徳
	石井 涼太		加藤木 壘

成年男子3次予選:最終通過決定戦(6~7位決定戦)(敗者は不通過)

	千葉	0 対 2	神奈川
S1	矢島 淳揮	6 - 8	喜多 元明
S2	石井 涼太	7 - 9	小林 雅哉
D	矢島 淳揮	\ - /	喜多 元明
	石井 涼太		小林 雅哉

栃木県テニス協会
監督：阿久津定之

1. 大会概要

- ・日程 令和3年6月25日(金)～6月27日(日)
- ・会場 栃木県総合運動公園テニスコート
- ・主催 公益財団法人日本スポーツ協会・栃木県・関東テニス協会
関東ブロック各都県体育・スポーツ協会・宇都宮市
- ・主管 栃木県教育委員会・公益財団法人栃木県スポーツ協会
栃木県テニス協会・宇都宮市教育委員会・宇都宮市スポーツ協会
- ・後援 スポーツ庁

2. 試合方法

- ・ダブルス1ポイント、シングルス2ポイント、合計3ポイントによる対抗戦。
- ・試合は、都道府県対抗のトーナメント方式で行う。
- ・試合はすべて8ゲームズプロセット、ノーアドバンテージ方式とする。
- ・試合は1回戦より勝敗決定後に打ち切りとする。

3. 参加監督・選手・トレーナー

1. 成年男子 監督：阿久津定之 選手：川橋勇太、柚木武
トレーナー：吉村健児 役員：渡辺強化副委員長

4. 試合結果

■成年男子 ブロック1回戦 対 千葉県：6月26日(土)

	栃木県	②-0	千葉県
S 1	川橋勇太	○8-4●	矢島淳揮
S 2	柚木 武	○8-1●	石井涼太
D	川橋勇太 柚木 武	打ち切り	矢島淳揮 石井涼太

■成年男子 ブロック決勝 対 東京都：6月26日(土)

	栃木県	②-0	東京都
S 1	川橋勇太	○9-7●	白石 光
S 2	柚木 武	○8-3●	田形諒平
D	川橋勇太 柚木 武	打ち切り	白石 光 田形諒平

所感

昨年は、新型コロナウイルスの影響で鹿児島国体が延期となり、関東ブロック大会も開催されませんでした。二年ぶりとなった関東ブロック大会は成年男子のみで、成年女子はストレートで本国体に出場することになりました。今年の関東ブロック大会は、地元開催ということもあり、本国体出場権を何としても取る意気込みで臨みました。

本県の代表選手は、シングルス1が昨年から栃木県スポーツ専門委員として活躍している川橋勇太選手、昨年の全日本室内選手権シングルスでは準優勝し、現在、全日本シングルスランキング26位のプロ選手です。シングルス2の柚木選手は、真岡市出身で文星芸術大学附属高校から法政大学に進学し、昨年のインカレダブルスチャンピオン、今春、大学を卒業し、現在、プロ選手として活躍しています。

今回、栃木は第三シード、初戦の対戦相手は千葉県、シングルス1の川橋選手の対戦相手は、矢島選手、お互い初戦ということもあり、ともにブレイク、その後お互いサーブをキープし2-2となり、川橋選手が再びブレイクで4-2、その後、お互いサーブをキープし5-3、相手のミスもあり、7-4で川橋選手がマッチポイント、最後はサーブエース、8-4で勝利、シングルス2の柚木選手もサーブ、ストロークともに安定し、8-1で勝ち、初戦、ストレートで勝つことができた。

続く、ブロック決勝の対戦相手は、今回、第一シードの東京都、昨年のインカレシングルスチャンピオンの白石光選手、同じく昨年シングルス準優勝の田形諒平選手、強豪チームとの対戦、ここで勝てば本国体出場が決まる一戦でした。シングルス1の川橋選手は、先に得意のバックストレートでエースを取り、先にブレイク、3-0と良いスタートでしたが、中盤は追い上げられ6-6、その後、お互いキープし8-7で白石選手のサーブ、タイブレークになるかと思われたが、15-40とマッチポイント、2度チャンスがあったがノーアド、最後は川橋選手のエースでポイントを制し9-7で勝利、柚木選手も初戦同様、サーブ、ストロークが安定し、8-3で勝利、ブロック決勝もストレートで勝ち本国体出場を初日で決めることができた。

今年は地元開催ということで、多くの皆さんの応援があり、選手も応援を力に素晴らしいプレーができ、本国体出場を決めることができました。応援していただいた皆さんには、心より感謝を申し上げます。また、いろいろサポートしていただいた県スポーツ振興課をはじめ、県スポーツ協会の皆さん、また、準備・運営していただいた県テニス協会の皆さん、そして、選手のケアをしていただいた吉村トレーナー、多くの皆さんにサポートしていただきありがとうございました。今年の三重国体では、一つでも多く勝ち、良い成績が残せるよう、そして、来年の栃木国体に向けて弾みがつけられるよう頑張りますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。